

福島市「心のバリアフリー」広報紙

ココフリ



きょうせい まな むげんだい
-共生、学びは無限大- 福島市「心のバリアフリー」
推進キャッチフレーズ

< 令和5年5月発行 >

福島市共生社会推進課
〒960-8601

福島市五老内町3番1号

TEL 024(572)3948

FAX 024(535)7970

HP <https://www.city.fukushima.fukushima.jp>

《特集》

心のバリアフリー
出前講座のご紹介



いつもの場所で、仲間や友人と共に
『心のバリアフリー出前講座』

を受けてみませんか？

福島市社会福祉協議会では、“地域”や“学校”、“企業・団体”などを対象に、福祉に関する体験や講話の出前講座をコーディネートしています。

《出前講座メニュー》

車いす体験、手話講座、手引き体験、点字体験、心のバリアフリー講座、
高齢者疑似体験、障がいスポーツ体験 など

例えば…

実際に疑似体験セットを身につけて、
「加齢による筋力の低下」や
「できていたことができなくなる
不安な気持ち・ストレス」などを体験し
高齢者の気持ちやコミュニケーションの
取り方について学びます。



高いところ、小さな文字
がよく見えない…



小銭を出したいのに
こまかい作業が
思うとおりにできない…



体験を通して、身近な環境にある様々な
バリア（壁）や「心のバリアフリー」
について一緒に考えてみませんか？

この色は何色だろう？
見えにくい色があるなあ…



『心のバリアフリー出前講座』
の詳細や申し込み方法については
QRコードから！！ →→→→→



《お問合せ先》

社会福祉法人 福島市社会福祉協議会

電話 024-533-8877

FAX 024-533-8879



『知る？知る！
心のバリアフリー』
コーナー Vol.2

< 心のバリアフリー はだれのため？ >

～『誰にでもやさしいまち ふくしま』に向けて
みんなで考えていこう～

福島市が進めていく「心のバリアフリー」のポイント

対象 ▶ 困りごとに直面し、支援を必要としている「すべての人々」。

例えば…高齢者、障がい者、外国人、赤ちゃん連れの人など

行動 ▶ 特性や必要な支援などについて、お互いに

「知ろうと行動すること」、「声の掛け合い」や「助け合い」。

「心のバリアフリー」は、「すべての人々」のため、

それは、「自分」のためでもあります。



まずは身近なところで声を掛け合ったり、

無理なくできそうなことから、知るための行動をすすめていきましょう。

お知らせ

多目的トイレ・男性用トイレへの 『サニタリーボックスの設置』について

すべての人が、どこへでも安心して外出できるよう、女性用トイレに加え、多目的トイレや男性用トイレにもサニタリーボックスを設置する動きが広がっています。



🌸 『サニタリーボックス』の設置をすすめる理由 🌸

- ①病気(前立腺がんや膀胱がんなど)治療の影響や加齢により、日常的におむつや尿漏れパッドを使用する方への配慮
 - ②トランスジェンダーの方(こころの性とからだの性が一致していない状態にある人)への配慮
- など

福島市も、【誰にでもやさしいまち ふくしま】の実現に向け、市役所(本庁舎)や各支所・学習センターなどの公共施設から、サニタリーボックスの設置をすすめています。必要な方へ情報をお届けできるよう、今後情報の発信のしかたについても考えていきます。

《 次回予告 》

「ここフリ 第4号」は
令和5年7月頃に
発行予定です

